

第35回企画専門調査会(平成22年9月28日)資料
 「(平成22年度)食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について」抜粋

物質名(危害要因)	主要な物質(危害要因)に関する概要	国内外における状況等
ビタミン類	ビタミンA: ビタミンA過剰症による出生異常、肝臓、骨密度減少や、ビタミンAを含む食品の大量摂取による吐き気、頭痛、めまいなど 〈国外〉 葉酸: 葉酸の摂取とビタミンB12 欠乏、がん、冠状動脈疾患に関する情報	〈国内〉 ・食品安全委員会による評価状況: なし。自ら評価候補として検討(サプリメント全般、H20、ビタミン類の過剰摂取 (H16、H17))。「ビタミンAの過剰摂取」について、食品安全委員会でファクトシートを公表(H18)。 ・厚生労働省: 日本人の食事摂取基準(2010年版)においてビタミンA、ビタミンDの過剰摂取の健康への影響について記述。 〈国外〉 ・EU: 食品科学委員会(SCF) ビタミン、ミネラルについて上限値(UL)に関し意見書を公表(2002(H14))。 ・UK: 2003年専門委員会による報告書「Safe Upper Levels for Vitamins and Minerals」公表(2003(H15))。